

2020

同友しずおか 2

VOL.495



私の逸品

長澤瓦商店

近くに日本伝統文化を…
瓦のアクセサリー



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2

よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらった
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1095 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
うらやま よしえ 浦山 美江	(有)ケーユー 保険代理業 (保険代理販売)	伊東	関野 幸生
さいとう みつおみ 斎藤 光臣	富士エナジー(株) 電気小売業 (アスクリラロパワーエナジーサポーター電気、保護動物の殺処分0電気、障害者サッカー電気)	三島	高木 基
いちかわ ゆうじ 市川 裕史	(株)百一酸素 溶材商(高压ガス、プロパンガス、溶接材料、溶接機、機械工具、各種工事、富士の湧水(ウォーターサーバー))	沼津	藤原 博美
さとう さとる 佐藤 寛	(株)アルク ソフトウェア開発(コンピュータシステム及びソフトウェアの企画、開発、販売、保守及びコンサルティング)	富士宮	宇佐美健介
みき あやみ 三木 綾美	Amiraiz 委託業種 (ドローンによる建物調査、エステ、結婚相談所)	富士宮	河原崎哲哉
おかべ ひろゆき 岡部 紘之	(株)岡部建成 建設業 (造成、外構、基礎工事、建設残土処分)	静岡	青山 達弘
まえはた けんじ 前畑 謙次	プラントイジャパン(株) 輸入卸 (タイのプラントイ社 (木製玩具メーカー) との合併会社)	静岡	勝又 悦朗
もりたけ ひろあき 森竹 啓明	森竹工業(株) 鋼構造物工事業、建築工事業 (鉄骨建築、金属加工 (鋼材切断・穴あけ)、金物加工、溶接作業、施工図面作成、現場運搬・組立・取付・とび作業)	静岡	三木 清夫
すずき のりかつ 鈴木 謙克	(株)鈴木木工 木製家具製造 (木製家具製造、建材店向玄関収納家具、マンション向クローゼットなど)	志太	松葉秀介/小寺敬二
おおいし こうじ 大石 浩司	(株)保険ステーション 保険代理店業 (生命保険、損害保険)	榛南	横田 研
おおば ひろやす 大庭 弘靖	税理士法人 T S G 早川会計 税理士事務所	浜松	永井 昭
ねぎし まさる 根岸 優	アイエム(株) 保険代理店業 (損害保険、生命保険)	浜松	永井 昭
はな い あつし 花井 純	スペースプランニング(株) 運送業 (一般貨物輸送)	浜松	山崎 昌彦
わたせ あゆこ 渡瀬 亜由子	夢トロッコ 情報サービス業 (webサイト制作、パソコンスクール、広告制作)	浜松	長野 哲久

名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
こいずみ なおき 小泉 直樹	(株)オサコー建設 総合建設業 (建築・土木工事 (公共・民間)、不動産取引、不動産賃貸)	御殿場	長田 崇

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



近くに日本伝統文化を… 瓦のアクセサリー

長澤瓦商店 (静岡支部)

代表 長澤 宗範氏



長澤 玲奈氏 (左) 長澤 宗範氏 (右)

同友会に入会し、自分を見つめなおす

長澤瓦商店は1971年、長澤氏の父久雄氏が開業しました。創業時から48年、瓦の販売・施工を行っています。長澤氏は大学卒業後、家業を継ぐべく愛知県にて3年間住み込みで修業を積みました。その後、家に戻り父と二人で営業するようになりました。代わりをしようとは2年前。年々減ってくる仕事に悩み、一時は廃業も考えていたといいます。そんな時、保険で付き合いがあった橋本和幸氏(バリヤー・トーカイ㈱・静

岡支部)の紹介で同友会に入会。1年目から経営指針を創る会(以下、創る会)にも参加し、自分を見つめ直すところから始めました。見えてきたのは、自分はやはり瓦が好きだということ。リフォーム等、仕事の幅を広げることが考えていた時期もありましたが、瓦に関する事でやっていく決意ができたと言います。

瓦アクセサリーの誕生

瓦アクセサリー誕生のきっかけは、長女の長澤玲奈氏でした。玲奈氏は昨年スタッフとして長澤瓦店に入社し、同友会の合同入社式にも参加しました。来年度の合同入社式では先輩社員としての挨拶も控えています。玲奈氏が同社に入社したきっかけは、静岡支部の地域交流委員会で行っている小学校のキャリア教育でした。当時学生だった玲奈氏に小学校のキャリア教育を手伝ってもらったところ、今まで家業にまったく興味を示さなかった玲奈氏が瓦に興味を持ち始めたのです。そこで、瓦のことを知ってもらいたい、瓦を身近に感じてもらいたいと思っていた

長澤氏は玲奈氏に、スタッフとして入社して自由に商品を開発するように言いました。そして生まれたのが、瓦玉を使った

ビーズアクセサリーです。中でも目を引いたのは、「和瓦鶴(わがかく)」と名付けられたアクセサリーです。上から三つのビーズが付いていて、一番上は水晶やタイガーアイ、真ん中が瓦玉、そして一番下は直径1.5cm程のビーズの中に折鶴が入っています。もちろん折鶴も手作りで、日本の伝統を受け継いだ瓦を、世代を問わず多くの人に知ってほしいという思いを込めて、ひとつひとつ手作りで作成しています。現在、長澤瓦商店として瓦アクセサリーのブランド「道宗(Dogyu)」を立ち上げ、瓦アクセサリーや小物の販売を行っています。

チャレンジの1年から、飛躍の1年へ

長澤氏は現在、少しでも瓦に触れ合ってもらいたい、瓦の良さを知ってもらいたいという思いから、瓦のアクセサリーを手にした色々なイベントに積極的に出店しています。同友会に入会し、色々なことに積極的にチャレンジしているうちに、廃業を考えると少なかつた仕事で飛躍的に増えました。創る会で10年ビジョンも作成し、自分に自信がついたのが大きいといいます。今後は今までのB to Bの仕事のやり方から、B to Cの仕事も積極的に増やしていきたいと語る



瓦玉を使ったビーズアクセサリー「和瓦鶴」

長澤瓦商店

〒424-0052 静岡市清水区北脇650-1
TEL : 054-345-6369
URL : <http://nagasawa-roof.com/>

創業 1971年

社員数 1名

入会年月 2017年4月

事業内容 かわらぶき工事、板金工事、リフォーム工事、太陽光設置工事、瓦アクセサリー・小物販売

取材・記事・藤本浩氏

プリントバリヤー㈱・静岡支部

長澤氏。そのためにドローンを使って、お客様に屋根の状態をみていただくサービス等、新しい取り組みも考えています。「昨年一年はチャレンジの年。今年も飛躍の年にしたい」と語ってくれました。

会員訪問記

高齢者や初めて車を購入されるお客様にも
より良い車を低価格で

AUTOSKY

代表 佐野 文彦氏 (榛南支部)



佐野 文彦氏

中古車を低価格で販売

佐野氏が2019年6月に開業したAUTOSKYは、町の中心地の交差点に面した外からも目立つところに店舗を構えており、200坪程の敷地の中で車十数台を展示し販売を行っています。軽

自動車や軽トラック、スクーターなどの部類を中心に、低価格で販売できる車を取り扱っています。それ以外にも外車なども在庫して展示を行うこともあるそうです。現在は常時25台程度の在庫を持ち毎月8台程度の車を販売しているとのこと。主なお客様は地元

域性もあるのかもしれませんが、軽トラックが人気で最近は販売数も増えてきました。
後継者として同友会で学び起業
佐野氏は新卒でトヨタに入社、その後、沼津の㈱オートベルや御前崎のホンダカーズに勤め、多くの車を販売しました。その経験を経て、より良く・安い・安全な車売っていきたく考えたのが起業のきっかけでした。
同友会には2011年に当時榛南支部会員だった沖本登志春氏(㈱トシズ)に誘われ入会しました。その当時はまだサラリーマンであり会社の後継者として同友会に参加していました。しかし、例会のバズセッションや委員会活動に参加していく中で、企業のすばらしさや地域貢献のすばらしさを肌で感じ、個人で起業したい気持ちが強くなっていったそうです。

ネット販売で

「遠くて近い販売店」に

佐野さんは取り扱う車に関して低価格でも「年式」「車種」「性能」などの部分には特に気を使っているそうです。主に高齢の方や車を初めて購入される方にも安心して乗ってもらえるように工夫していると話してくれました。

最近ではポスティングなどの情



報提供にもチャレンジしているとのこと。そのほかには「GOO ネット」や「カーセンサー」といったネット販売でも車を掲載し販売を行っているそうです。

今後は展示中古車を増やし店頭でのお客様の選択肢を広げたり、より多くのお客様を得るために現在行っているネット販売でも常に新しい情報を更新し、遠くて近い販売店になりたいと考えていると話してくれました。

取材・記事：松下 幸示氏

(株)スーパーラック・榛南支部

取材：松下 秀樹氏

(株)建築工房相良・榛南支部

取材：河内 崇文氏

(株)スマートブレイン・榛南支部

AUTO SKY

〒421-0523 牧之原市波津3-57

TEL : 0548-23-3323

URL : https://www.goo-net.com/usedcar_shop/0602517/detail.html
<https://www.carsensor.net/shop/shizuoka/319650001/>

創立 2019年6月

社員数 2名

入会年月 2011年6月

事業内容 中古車販売・車買取



店舗外観

会員訪問記

会社は変わる

(有)エージェントうさみ
代表取締役社長 宇佐美 健介氏 (富士宮支部)



富士宮警察署の目の前に事務所を構える(有)エージェントうさみの宇佐美健介氏を訪問しました。

「石の上にも3年」
がむしゃらに学んだ研修時代

富士宮で起業したきっかけは、義父が保険代理店を運営していたことだと語る宇佐美氏。義父に結婚の挨拶に行った時「将来的にこの仕事を継ぐ気があるのか」と聞かれて「あります」と答えたそう

です。保険業界に入り研修制度がスタートして6ヶ月が経過したところで成績が同期入社のうちワースト2位になり、毎月の給料では生活できず貯金を取り崩して生活していた宇佐美氏。辞めようかと悩んでいた時に友人から「石の上にも3年」と言われ、3年まではやってみようと思ったそうです。そして、優績者との出会いの中で「中小法人の飛び込み営業」について学び、学んだことをがむしゃらに実践しました。そこから少しずつコツをつかんでいき、やっと義父と同じくらいの売上の規模になったそうです。

富士宮で一番の保険代理店を目指す

宇佐美氏は、自分の中で仕事のやり方や方向性について考え始めていくうちに、組織化して富士宮で一番の保険代理店になりたいと



事務所入口



宇佐美 健介氏

思うようになったそうです。しかし義父は、自分が引退して事業を受け渡すまで、安全にいきたいという思いが強く、そこから段々と意見が合わなくなり、非常に悩んでいた時期にちょうど威頼氏(株)アサギリ・富士宮支部)の紹介で同友会に入会しました。同友会では先輩経営者から色々なことを教わることができ、結果義父を説得して法人化、組織化ができたそうです。

経営指針の実践で社員と共に成長していきたい

経営指針書は①経営理念(経営の目的) ②経営計画(数字の目標) ③経営戦略(数字の達成への戦略)で成文化されています。経営理念は3つあります。

1. 我々は、相互扶助の精神を持って、人と人が助け合い支え合う、安全で安心な地域づく

2. 我々は、時代と共に変わるリスクを正確に把握し、広範なコンサルティング活動によってお客様の健全な暮らしを守ります。
3. 我々は、人を支え、心を繋ぐ、優しい人集団であることを目指します。

まずこの理念の実践から社員と共に成長していきたいとのことでした。また、経営計画、経営戦略を含めた経営指針書を作成して取引先とお客様向けに公表しているそうです。現在も同友会で学んだことを実践しながら堅実に増収増益を継続している宇佐美氏ですが、ここでは記載しきれない、多くの厳しい体験、ぶつかりあい、挑戦、同友会3つの目的の深い学びがあったのだと聞いて、勇気や元気をもらえた訪問でした。

取材・記事：望月知洋氏
(エムスタイル・富士宮支部)

(有)エージェントうさみ
〒418-0061 富士宮市北町2-21
TEL：0544-26-3565
URL：https://agent-usami.com/

設立 2002年
社員数 9名
入会年月 2005年3月
事業内容 三井住友海上ハイグレード保険代理店

三島支部30周年記念事業

1月14日(火) みしまプラザホテル 参加：53名



三角 武一郎氏

(株)KSP取締役会長・
埼玉同友会会員

三島支部は駿豆支部から沼津・三島支部に分かれ、今年度30周年を迎えました。当日は三島支部会員より27名、他支部会員、ご来賓を含め総勢53名の参加の下開催されました。記念事業では、三島市や県内会員からのお祝の言葉の後、井上斉氏(ワシロック工業(株)・静岡同友会代表理事)より祝辞を頂きました。功労者表彰では、歴代の支部長を紹介し、駿豆支部に入会し、三島支部設立メンバーの大房晃弘氏(南オオフサ)、岩崎隆男氏(南岩崎商店)、村松盛次郎氏(南トラスト)の3名を30年会員として表彰しました。それぞれの印象深い思い出が話され、支部の歴史を懐かしむ時間となりました。

続く記念講演では、埼玉同友会より三角武一郎氏(株)KSP 取締役

業など、社員や社会から求められていることを「人を生かす経営」を軸に考え、自社経営に計画的に落とし込んできました。今年1月に事業継承し、新たな目標に向かって邁進するパワフルな姿は参加者に勇気を与え、多くの人が同友会の学びを社内実践する大切さを改めて認識した講演となりました。

懇親会では豊岡武士三島市長よりご挨拶を頂きました。その後、地元出身のアコーディオン奏者 杉山卓氏の演奏で会場はさらに盛り上がり、世代も地域も越えて懇親を深める場となりました。

支部長メッセージ



この度、三島の30周年記念事業を無事開催することができました。御来賓の方々、他支部の皆様にも沢山お集まり頂いたこと、支部を代表して深くお礼申し上げます。

駿豆支部から三島支部と沼津支部に分かれた当初は三島46名、沼津36名でスタートし、今年度共に30周年を迎えました。中同協が50周年、三島支部が30周年と大変な時期に支部長に就いたなあと正直思いましたが、私なりに同友会活動を少しでも理解し、活動できる様に努力を続け、頼りない私を支部会員の皆さんと事務局の皆さんが支えて下さり、めでたくこの日を迎え、お祝い出来る事を重ねて深く感謝申し上げますと

三島支部設立メンバー大房氏よりメッセージ



昭和61年に駿豆支部に入会と同時に、先輩会員でカリスマ

に、無事に支部30周年を迎えられたのは現チャーターメンバーを含め、支部を継続して頂いた、先輩会員たちのおかげです。今後ともみなさんと「謙虚に共に学び」を深め、行政の方や金融機関の方とも連携して仲間を増やし良い支部が創れる様に一層努力していこうと思っております。

柳楽洋一郎氏(南ゼロ・三島支部)

リーダの故金丸晶徳氏に、同友会に入ったら支部・県・東海四県・全国大会に参加しなければ価値がないと、各大会に誘われ言われるままに何もわからず付いて行きました。どの会合でもすべて新鮮であり帰りの電車の中では興奮して話合ってきた記憶があります。3年後には沼津と三島が独立し支部活動が始まりました。会員増強例会参加率UP等駆けずり回り、三島支部4年目の7月7日午後7時迄に70名会員にするとの約束の下、見事達成し大宴会をさせていただきました。それから今までであつという間の30年でしたが、支部活性化もできており、自分としては5年前に社長交代もでき、これからは同友会理念に則り何事にも前向きに見るものすべて勉強と支部発展のために進んで参ります。

大房晃弘氏(南オオフサ・三島支部)

『地方消滅』をめぐる議論の再考

講師 静岡大学大学院人文社会科学領域

准教授 太田隆之氏

1月11日(土)



太田 隆之氏

2013年の「増田レポート」で提示された「地方消滅」論を切り口として、このまま人口減少がすすみ、人が住まなくなれば多くの地域が「消滅」する可能性があるという切実な現状を確認しました。そのことを踏まえての対策として、現在いる人口の1%を取り戻し、地域外に流出している所得の1%を取り戻せば「消滅」の回避は十分可能であるという「田園回帰1%戦略」なる手法も興味深く聞かせていただきました。たった1%が安易な数字どころか、かなり大変な努力を要

するものであることは提示していただいたいくつかの実践データからも理解を深めることが出来ました。

また、グループ討論では、「人口数が消滅していくことは避けられない事実であり、むしろ現在の人口流出、一極集中が問題である」という意見から有意義な議論を行うことが出来ました。

限界集落や過疎地などと呼んでいますが、地方に根付いて精神的にも豊かな暮らしを営んでいる人たちはたくさんいます。現代社会が追求してきた利便性向上や経済発展・生産性向上のみを求める政策で私たちは本当に豊かになれるのか、私たち自身の価値観の転換も併せて今一度考えさせられる時間を持てました。

友田 國彦氏

(サステン建築㈱・静岡支部)

静岡大学連携講座

第12講

「健康と建築 ～住まいづくりの責任～」

講師：朝日康典氏 (㈱朝日鉄建・朝日夢工房一級建築士事務所(富士宮支部))

1月8日(水)



朝日 康典氏

会社と家族の危機から健康の大切さを意識し始めた朝日氏。アレルギー体質で苦しんだ自身の体験も踏まえ、「お客様が健康で快適に暮らせる住まいづくりがしたい」という思いから、夏は涼しく冬は暖かく、自然素材で耐震や防蟻を実現した自社ブランドを創り上げました。「徐々に成長していき、地域になくてはならない会社になりたい」と今後の自社への想いを学生たちに伝えました。

第13講

「NONUKES―ビキニの海は忘れない」 ～第5福龍丸、水爆被ばく事件、あの頃ぼくたちは中学生だった～

講師：杉村征郎氏 杉村精工(株) (志太支部)

1月15日(水)



杉村 征郎氏

若い頃に戦争やビキニ事件を目の当たりにし、仲間と「原水爆反対署名」の活動を行った杉村氏。エネルギー問題を世界で訴えているグレタさんを紹介し、語り部として地元で自身の体験を伝えていく杉村氏は、「我々の持っている力は微力ではあるが無力ではない」という立命館大学元学長の安斉氏の言葉を紹介。学生には自分の力で考え、事実を知り、他からも自らにも騙されない力をつけてほしい、と伝えました。

第14講

「ダメ社長達から学んだ経営学」

講師：増田崇氏 (有リアス(榛南支部))

1月22日(水)



増田 崇氏

保険代理業と事業再生コンサルティング業の2つの事業を展開している増田氏。様々な経営者と向き合うなかで構築していった、自らが思い描くビジネスモデルの実現を目指しています。今後は有リアスとして、社員みんなで創る経営理念の作成や就業時間の見直しなど、更なる働く環境の整備を進め「働く環境が日本一の保険代理店を目指す」と熱い想いを学生に伝えました。

第15講

「経験に無駄はない！思えば叶う、夢の力」

講師：大川隆久氏 フエタ工業(有) (御殿場支部)

1月29日(水)



大川 隆久氏

テレビ業界への就職を夢見るも家業へ入ることになり、最初は仕事が嫌で仕方なかった大川氏ですが、他社での修行の経験などから「中小企業の経営者だからこそ自由にできる」とに気づき、同友会で学びながら前向きに経営に取り組みむようになります。現在は自分の好きなことを生かしてイベント音響事業も行っており「同友会で多くの役職を経験したことで自己成長につながった」と話しました。

県知事表敬訪問

2020年1月8日(水)に井上代表理事、秋山事務局長が静岡県庁にて、川勝平太静岡県知事を表敬訪問しました。井上代表理事からは新年の御挨拶に加え、静岡県経済産業部との意見交換会等の御礼、制定から4年目を数える静岡県中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく振興会議への継続した同友会からの参加協力についてお伝えしました。その後、難波喬司副知事、吉林章仁副知事に御挨拶を行いました。



2月・3月

DOYU CALENDAR

2月16日(日)～3月15日(日)

2月 17日(月)	県組織増強委員会(東部) (19:00 プラサヴェルデ) 経営指針を創る会見直しプロジェクト (19:00 同友会事務局)
18日(火)	沼津例会(19:00 プラサヴェルデ)
19日(水)	伊東例会(19:00 ひぐらし会館) 志太例会 (18:30 島田掛川信用金庫七丁目支店) 浜松例会(19:00 クリエイト浜松)
20日(木)	富士例会(19:00 富士市交流センター) 榛南例会(19:00 さざんか) 中遠例会(19:00 ワークピア磐田)
21日(金)	会員経営者が語る「イントロセミナー～同友会と私」(19:00 同友会事務局)
22日(土)	共学ゼミ(14:00 かまくら文庫)
25日(火)	三島例会(19:00 三島商工会議所)

26日(水)	県理事会(17:00 同友会事務局) 県例会企画委員会(19:00 同友会事務局) 県障がい者問題委員会(19:00 同友会事務局)
28日(金)	県共育委員会(19:00 同友会事務局)

3月 10日(火)	静岡例会(19:00 ペガサート)
11日(水)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局) 御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア)
13日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店)
14日(土)	同友会大学第6講 (14:00 同友会事務局)



《あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください》



故 杉山 史郎氏
イハラ観光(株)
静岡支部
1947年7月16日生
(満73歳)
1991年入会

故 杉山 史郎さんのご逝去を悼んで

笑顔でパンダの制帽をかぶり、奥様、4人の子ども、11人の孫に送られた史郎さん。体調を崩してから事務所で大声で家族や社員に檄を飛ばし、自らも不自由な体で歩き回っていた姿を思い出します。幾多の交流会に所属して宴会になると両手指の間に徳利を2～3本ずつ、大皿には食べきれないほどのつまみを持って来てくれた史郎さんは常に人気者でした。決して話し上手ではなかった史郎さんが宴席において培った史郎さんならではの営業だったと、今になって考え思い出します。40数年前の創業当時、夜遅くに奥様が子どもを抱え、バスの洗車をして早朝の出発に間に合わせる。「今日の仕事は明日に残すな」を実践し、経験で勘を養い度胸を据えて前進する明快な考え方を与えてくれたのは、史郎さんに教えてもらった宝です。また、私の娘が白血病を患った時には、率先して守る会を立ち上げ、当時の同友会清水支部の皆様とともに看病に尽力していただきました。その娘も昨年5月に入籍、今年5月には出産を予定しています。5番目の子どもだと言って可愛がっていただいた娘の赤子を見ていただけない寂しさもありますが、天国より見てください。闘病を終え、安らかに旅立った史郎さん、お世話になりました。ありがとうございました。

片平 仁男氏 (南片平木材・静岡支部)



静岡同友会
Facebookページ



静岡同友会Facebookページで、会員企業訪問の様子や各支部例会の案内を掲載しています。ぜひご覧ください!